

2022年度 基小グランドデザイン

チーム基小2022「学校教育目標」と「2022年度重点目標」に向けて

【学校教育目標】「善く生きる子」の育成を目標とし、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図るとともに、公共の精神を尊び活力に満ちた心身共に健やかな児童の育成を図る。

【2022年度重点目標】高い目標に向かって、楽しみながら地道な努力を継続できる児童の育成
 —自分を大切にし、自分に責任をもつ—

【豊かな心】

<常に前向きな気持ちで、周りとは協調できる子>
 行動目標「自分の居場所と所属感をもとう」

【健やかな体】

<心身共に健康で、ねばり強く続けられる子>
 行動目標「コロナに負けない体と習慣をつくろう」

【資質・能力の育成】

<気づき・考え・実行し、反省を次に生かせる子>
 行動目標「計画性と自主性、責任感を高めよう」

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ① 自信をもって、常に前向きに取り組める
- ② さまざまな角度、立場で考えられる。
- ③ 周りとは協調し、自分の役割を自覚し果たせる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導改善

- ① 相手への思いやりと責任感が育っている。
- ② 多角的・多面的な思考力が身に付いている。
- ③ 計画的・主体的にかかわる態度・行動力が育っている。

【子どもの実態】

- ・あいさつを、自然に笑顔でできない（自己肯定感の低い）子がいる。
- ・そうじや役割等でよく働く子が多い。
- ・言われたことは素直に行うが、自ら気づき、考え、実行できない。

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- 個に応じたきめ細かな指導
- 職員の連携を密にして、情報を共有し、同じ歩調で多くの目で指導

【めざす子どもの姿】

- 自己肯定感が高く、自信があり、役立つことで自分に満足できる子
- 自ら考え、判断し、自分の行動に責任をもてる子
- 心身共に健康で前向きに努力できる子

何を学ぶのか

○教育課程の編成

- ① ESDを柱とした教科横断的なカリキュラムの作成（ESDカレンダーの更新）
- ② 言語の能力の育成（朝読書・スピーチ）
- ③ 思考・判断・表現力、見方・考え方や学び方を育てる
- ④ ポストコロナを見据えた持続可能な学校行事への変革

どのように学ぶのか

○教育課程の実施

- ① 児童主体の問題解決型の授業（教師はコーディネーター）
- ② 心を動かす体験活動や出前授業、取材・校外学習
- ③ 自作テスト、学びのプランを修正し、評価と指導の一体化
- ④ ICT環境を効果的に利活用した授業
- ⑤ 自主性と責任感（選択と反省）、自己有用感を育てる学校行事

実施するためには何が必要か

指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 校内研修の充実 ○外部講師を招いての少経験者授業研究 ○いじめのない人権を重視した学年・学級経営
- 学校運営協議会を通じて、PTAや支援団体（おやじの会・ブックママ・スクールガード・学校支援ボランティア）との連携
- 働き方改革で、職員が自分や子どもと向き合う時間を確保 ○幼稚園・保育園や中学校との連携 ○校内ICT環境の推進

安心・安全を守る

- ・安全・安心な学習・生活環境の整備、平時からの危機管理
- ・教育相談やアンケートによる不安の早期発見・早期対応
- ・自分の命は自分で守る児童の育成（安全・防災教育）

開かれた学校づくり

- ・ホームページ、学校・学年だよりによる積極的な情報発信
- ・報告・連絡・相談を大切にした風通しのよい職場環境づくり
- ・地域人材や施設の活用、地域との協力